

志賀高原・高天ヶ原湿原の生物多様性保全のために除去した侵入植物 “ヨシ”の有効活用法の開発

取組に至る背景・事業の目的

志賀高原は、上信越国立公園にあり、亜高山帯針葉樹林、湖沼、湿原など、貴重な自然環境の残された、数少ない地域であり、同時に、多くのスキーゲレンデが点在し、古くから自然と観光の両立を目指してきた地域である。

ところが、近年、高天ヶ原湿原に外来園芸植物の侵入とヨシの大繁殖が顕著となり、ヒオウギアヤメやミズバショウなど、希少な在来植物が著しく減少する状況となった。

このため、以前のように在来種が咲き誇る美しい高天ヶ原湿原を取り戻すため、外来植物、特にヨシの除去を行ってきたが、除去したヨシを有効活用できないか、方法を開発し、実用化に向けた取組みに繋げる。

事業内容

- 専門家を招いてヨシの活用方法について学習会を開催した。
- 湿原周辺の雑草及び外来種の除去作業
(6～8月 各月4回 計16回実施)
- 高天ヶ原湿原の現状と保全効果を知ってもらうため、年2回体験学習会を開催
 - 春：「のんびりと大人のエコツアー」と題し、シニア世代を対象とした高天ヶ原湿原の自然散策及びヨシ紙を使用したランプシェード作成イベントを開催
 - 秋：「高天ヶ原湿原のヨシで小さな環境学習」と題し、湿原内の刈ったヨシの回収及び選別を行うとともに、紙漉き体験によるはがき作成イベントを開催



【高天ヶ原湿原のヨシで小さな環境学習会】

事業効果

- 湿原内外の外来種除去、ヨシの除去作業により、本来ある高山植物の保護、育成により種子の増加がみられるようになり国立公園内の自然保護と観光地としての魅力発信の両立につながっている。(作業6月～8月計16回・5月～10月計9回)
- 高天ヶ原の魅力と共に、環境保全、保護への関心を深める体験学習会型イベントの開催。地域の子供たち、観光客の参加により、広く活動を周知することができた。(春43名の参加・秋47名の参加)

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 日頃の活動が実り、在来植物が見受けられるようになってきた。
- 事業実施後のアンケートでは、参加者から総じて好意的な感想が寄せられたことから、今後は事業実施のPR方法を工夫するなどして、より多くの人に情報が届くように工夫していきたい。
- 今後も引き続き湿原内外の外来種やヨシの除去を行うとともに、モニタリング調査も実施していく。併せてヨシ製品の開発・販売を行い、地域活性化の材料にしていきたい。

【選定のポイント】

除去したヨシの有効活用方法として、地域住民及び県外観光客に当該湿原の素晴らしさを知ってもらう学習会及び、ヨシを使ったランプシェード等制作イベントを実施。参加者約90名へのアンケートでは100%の人が「また参加したい」と回答するなど、参加者の満足度も高かった。この取組みをきっかけに、高天ヶ原高原を核としたグリーンシーズンの新たな観光資源としての期待が高い。

団体名	やなぎらんの会 (山ノ内町)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0269-34-2811	事業費	580,853円
ホームページ、メールアドレス		支援金額	436,000円
http://blog.goo.ne.jp/hiougiayame2006			